

平成24年度当初予算 主な事業の概要



茨城県 古河市

目 次

1. 市民主体の行政とみんなで築く“地域”づくり	1
2. 互いに支え合う福祉と健康の“社会”づくり	3
3. 健やかな市民と文化を育む“人”づくり	6
4. 活力と元気にあふれた人の集まる“魅力”づくり	9
5. 自然と共生した安全で快適な“暮らし”づくり	12
6. みらいを見据えた都市の“基盤”づくり	15

1. 市民主体の行政とみんなで築く“地域”づくり

予算額（単位：千円）

（１）公共施設の適正配置を調査・検討 4,000

庁舎を含む市公共施設及び市有財産（不動産）の将来に向けた適正配置・利用計画策定のため、現状と課題を調査研究します。

公共施設配置調査事業《企画課》

**新規**

（２）若者層の地域づくり等参画を支援 410

普段は行政と接点のない、組織に属さない若者層より、地域に対して行いたいことや提案したいことなどの前向きな企画に対して支援（1件あたり最高5万円）を行うことで、新たな地域づくり、コミュニティづくりを進めます。

古河青年企画提案事業《企画課》

（３）地域づくり活動の支援 151,836

市民が主体となった住民自治のまちづくりの推進に向け、自治組織に対する財政的支援および助成を行う。

自治組織運営事業《自治振興課》

（４）市民主体のまちづくりを支援 1,557

パソコン、印刷機、談話スペースなどを設置した市民活動支援センターを、行政自治会を中心とした市民活動団体へ開放し、団体の活動を活性化することで、市民主体のまちづくりを支援します。

市民活動支援センター事業《自治振興課》

(5) コミュニティ活動の育成・強化

14,286

地区コミュニティに、コミュニティ活動助成金交付要綱に基づき財政的な支援を行います。また、地区コミュニティの未設立地区には、調査研究、意見交換を行い、設立にむけた意識の啓発を行います。

コミュニティ推進事業《自治振興課》

(6) 「功労感謝の会」への支援

14,500

地区、自治会又は行政区が主催する地域の高齢者（当該年度末で70歳以上）と地域住民が一堂に会して交流する「功労感謝の会」事業に対し、高齢者が生き生きと暮らしていける地域づくりの推進を目的に補助金を交付します。

「功労感謝の会」支援事業《自治振興課》

(7) 住民票・印鑑登録証明書のコンビニ交付

3,600

平成23年度に引き続き、市民が便利・簡単に住民票、印鑑登録証明書を取得できるよう、コンビニエンスストア（一部の店舗）での交付を行います。

住民基本台帳事業《市民課》

2. 互いに支え合う福祉と健康の“社会”づくり

予算額（単位：千円）

（１）待機児童の解消

17,678

公立保育所7ヶ所に各1名の保育士を配置し、児童の受け入れ態勢を充実させ、待機児童解消に努めます。

緊急雇用対策事業・待機児童解消事業《子ども福祉課》

（２）古河市障害者基本計画の策定

2,100

事業費を増額して、今年度は新たに基本計画の策定を行います。現計画は平成24年度が最終年度となるため、計画期間を平成25年度から平成29年度までとする計画を新たに策定し、障害者福祉の充実を図ります。

障害福祉事務事業《障害福祉課》

（３）中学生までの医療費助成の実施

133,461

茨城県の医療福祉費支給制度の対象とならない小学校3年生までの小児および小学校4年生から中学生までに対し、古河市独自の制度である医療費助成（マル古）による医療費の一部助成を行い、子育てにかかる経済的負担を軽減します。

医療費助成（市単）事業《保険年金課》

新規

（４）医療情報キットの配布

1,000

高齢者本人の既往歴や緊急連絡先などを記載できる「医療情報キット」および保管場所を示すシールを配布することで、緊急搬送時および災害時における高齢者の安全安心の向上に努めます。

高齢者世帯救急医療情報キット配布事業《高齢福祉課》

新規

(5) ひとり暮らし高齢者対策の充実

4,223

ひとり暮らし高齢者世帯の実態を把握・システム化することで、高齢者の見守り活動に活用するとともに、緊急時および災害時における支援体制の充実強化を図ります。

ひとり暮らし高齢者把握事業《高齢福祉課》

(6) 母子家庭就労支援の充実

2,400

母子家庭の母の就職に有利で生活の安定に役立つ資格を取得するため、養成機関で2年以上修学する場合に、高等技能訓練促進費として給付金を支給します。

- ・ 給付金 非課税世帯：月額100,000円、課税世帯：月額70,500円
- ・ 修学期間全期間支給（上限を3年とする）

児童福祉事務事業《子ども福祉課》

(7) 保育施設の充実

309,835

老朽化が著しい第4保育所について移転改築工事を実施し、安心安全な保育環境を整え、より一層の保育サービスの充実を図ります。

第4保育所改築事業《子ども福祉課》

(8) 地域の子育てを支援

30,475

子育て親子の交流の場の提供や子育てに関する相談、支援情報の提供、講習活動を実施するため、私立保育園4ヶ所に地域子育て支援センター運営を委託し、地域の子育てを支援します。

民間保育所地域子育て支援拠点事業《子ども福祉課》

(9) 児童クラブ施設の充実

42,290

諸川児童クラブは施設が老朽化しているとともに利用児童が増加しており、定員を超えて受け入れをしています。このような状況を解消するために新施設を学校校内に建設し、児童の安全を確保するとともに安定した運営を図ります。

諸川小学校児童クラブ施設整備事業《子ども福祉課》

(10) 子宮頸がん予防ワクチン接種への助成

30,460

市内在住の中学1年生の女子生徒に対し、子宮頸がん予防ワクチンの無料接種券を交付し、接種を促すことにより、将来的な子宮頸がんの発症を予防します。

子宮頸がんワクチン接種事業《健康推進課》

(11) ヒブ・小児用肺炎球菌ワクチン接種への助成

100,151

乳幼児期に感染の危険の高いインフルエンザ菌b型（ヒブ）や肺炎球菌による重症感染症を予防するため、生後2ヵ月から4歳までの乳幼児を対象に全額公費負担で予防接種を実施し、乳幼児の感染予防を徹底するとともに、保護者の経済的負担を軽減します。

ヒブ・小児用肺炎球菌ワクチン接種事業《健康推進課》

(12) 肝炎ウイルス検診の充実

8,813

健康増進法に基づき、従来より希望者の方に実施してきた肝炎ウイルス検診を継続実施するとともに、平成24年度は、新たに40歳～65歳までのうち、5歳刻みの節目年齢の方を対象に無料で実施します。

成人保健事業《健康推進課》

(13) がん検診の推進

29,273

がん検診の受診率向上を目的に、20歳、25歳、30歳、35歳、40歳の女性には「子宮頸がん」、40歳、45歳、50歳、55歳、60歳になった男女には「大腸がん」同じ年齢の女性には「乳がん」検診の無料クーポン券・がん検診手帳を配布します。

（大腸がん検診は平成24年度から開始）

がん検診推進事業《健康推進課》

(14) ブックスタートの継続

2,025

健康推進課が実施する3か月健診において、乳児と保護者に絵本を開く楽しい体験と共に絵本を手渡し、絵本を通じて親子のふれあうひとときを持つきっかけづくりを促進します。

ブックスタート事業《三和図書館》

教育文化

3. 健やかな市民と文化を育む“人”づくり

予算額（単位：千円）

（１）総合的文化施設の整備推進 216,044

平成23年度に策定した「古河市総合的文化施設基本計画」を基に、平成24年度は設計業務、管理運営計画策定業務を行います。設計および管理運営計画の策定にあたっては、新たに設置を予定する「古河市総合的文化施設建設協議会」において内容を協議・検討し、協議経過等を広報・HP等で報告しながらまとめていきます。

総合的文化施設整備事業《総合的文化施設推進室》

（２）理科教育の強化 12,405

理科の授業を児童にとってより興味あるものに変え、児童の興味や関心に基づいた計画的な観察や実験などを通じ、問題解決の能力と自然を愛する心情を育てます。自然の事物・現象についての理解力の向上を図り、科学的な見方や考え方を養います。

理科教育推進事業《指導課》

（３）英語教育の強化 51,514

外国語指導助手（ALT）を配置し、外国語指導助手を活用した授業を通して、小学校ではコミュニケーション能力の素地を、中学校ではコミュニケーション能力の基礎を養います。また、第3学年を対象とした英語科放課後補習の講師に英語サポーターを派遣し、生徒の読むこと・書くことの実力の基礎力を補います。

英語教育推進事業《指導課》

緊急雇用対策事業・小学校英語教育推進事業《指導課》

（４）学校づくりチャレンジ事業の実施 5,000

児童生徒の学力向上に積極的に取り組む学校、または特色を生かした創意あふれる学校運営を通して児童生徒の学力向上を目指す学校に対して、学校づくりチャレンジ交付金を交付し、その活動を奨励します。

学校づくりチャレンジ事業《指導課》

新規

(5) 自然科学研究推進事業

5,000

地域素材を生かした体験型学習や理数教育の研究推進に取り組むこと、または科学教室や科学研究・発明工夫の作品づくりを積極的に取り組むことなどを実施する学校に対して、自然科学研究推進のための交付金を交付し、その活動を奨励します。

自然科学研究推進事業《指導課》

新規

(6) 学習生活環境の向上

137,078

夏の猛暑による熱中症などへの対策として、小中学校の普通教室に1教室あたり4台を標準として扇風機を設置し、学習生活環境の向上を図ります。また、暖房設備が、経年劣化により老朽化したため、年次計画で更新します。24年度は、下大野小・上大野小・駒羽根小・西牛谷小・水海小・下辺見小・八俣小・総和北中・総和南中学校において更新します。

小学校教室扇風機設置事業《教育総務課》

中学校教室扇風機設置事業《教育総務課》

小学校備品整備事業《教育総務課》

中学校備品整備事業《教育総務課》

(7) 小学校の改築

262,179

○古河第一小学校は、老朽化のため改築し、安全安心な教育環境を整備するため、平成23年度に用地測量および基本設計を行い、平成24年度は実施設計を行います。

(71,100千円)

○古河第六小学校は、改築工事を引き続き実施します。

校舎：鉄筋コンクリート造 地上3階建 5,667.22㎡

屋内運動場：鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 地上2階建 1,216.92㎡

(191,079千円)

古河第一小学校改築事業《教育総務課》

古河第六小学校改築事業《教育総務課》

(8) 学校施設の耐震化

24,791

震災を踏まえ、積極的に建物の耐震補強工事を実施し、学校施設の安全性確保と緊急避難場所機能の向上を図り、児童・生徒と地域住民の安全性を高めます。平成 24 年度は小堤・釈迦・名崎小学校・古河第一中学校で耐震補強工事のための実施設計を行います。

(参考) 平成23年度への前倒し分 (事業費 520,000)

古河第七・上大野・駒羽根・名崎 (北校舎) ・西牛谷小学校

《教育総務課》

(9) 英語圏体験学習の実施

8,486

中学生を対象に英語圏へ派遣し、ホームステイや学校訪問などの体験学習を通じて国際文化への理解を深め、豊かな国際感覚を持つ人材を育成します。

中学生英語圏派遣事業 《教育総務課》

緊急雇用対策事業・国際教育推進事業 《教育総務課》

(10) 健康ふれあいスポーツセンターの改修

85,891

平成 23 年度に引き続き、老朽化の進んでいる健康ふれあいスポーツセンターの屋根改修工事を実施し、市民が安全で快適に利用できる環境を整備します。

健康ふれあいスポーツセンター施設整備事業 《社会体育課》

(11) 学校給食センター建設の推進

223,695

老朽化の著しい共同調理 3 施設を統合し、安全安心な学校給食の提供や、効率的な施設運営を図るため、現総和学校給食センター用地を拡張して、新学校給食センターを建設整備します。平成 24 年度は建設のための基本設計、実施設計などを行います。

学校給食センター建設事業 《学校給食保健課》

4. 活力と元気にあふれた人の集まる“魅力”づくり

予算額（単位：千円）

（１）道の駅の整備推進

1,223,403

古河市の道の駅は、「休憩機能」、「情報発信機能」、「地域の連携機能」という道の駅の3つの機能を持つ施設にとどまらず、地域産業の活性化、観光振興拠点、市民の交流の場としての機能を併せ持ち、古河市の新しい顔となる施設として、平成25年7月頃のオープンを目指して整備を進めています。

道の駅整備事業《道の駅推進室》

（２）企業立地の支援

14,255

古河名崎工業団地では日野自動車(株)の古河工場が2020年までに建設が計画されています。今春、第一ステップとしてKD工場が稼働する予定ですが、地域経済の活性化や雇用機会の拡大を図る視点から、新たな優遇制度の運用などにより立地を促進するとともに、従業員の定住促進や関連企業の誘致に努めていきます。

企業誘致推進事業《名崎工業団地準備室》

企業立地促進奨励事業《名崎工業団地準備室》

（３）銘柄産地育成への支援

6,300

農協、生産者団体と協力しながら市場調査、消費宣伝活動などを行い、産地体制の確立を図ります。

銘柄産地品目：カボチャ、バラ、にんじん

銘柄推進産地品目：ブロッコリー、サニーレタス、ニガウリ

青果物銘柄産地育成事業《農政課》

(4) 地域農業の担い手育成を強化

1,090

新規就農支援研修費助成制度により、新規就農を目指す方や新規就農後（3年以内）に農業技術の向上を目指す方を支援し、地域農業の担い手を育成します。

地域農業担い手育成事業《農政課》

(5) 地域農業の活性化を推進

10,000

地域農業の活性化を図るため、認定農業者および農業者団体が農業機械などの購入に対しその費用の一部を補助します。

地域農業活性化支援事業《農政課》

(6) 交流農園による農業への理解を推進

1,130

古河市では平成 22 年度に、耕作放棄地の有効活用として市民などが利用する交流農園を整備しました。交流農園では栽培相談や技術指導の他、収穫祭などのイベント開催によって多くの人の参加を促し、農業への理解を深めます。

交流農園事業《農政課》

(7) 古河の優れた産品をブランド化

8,506

古河ブランド認証制度により市内の優れた産品をブランド認証し、展示・販売や各種イベントでPRすることで経済活性化を図ります。

◎現在 14 品目が認証。

古河ブランド商品開発事業《観光振興課》

緊急雇用対策事業・古河ブランド販売所管理事業《観光振興課》

(8) 「お休み処 坂長」のオープン

8,788

「お休み処 坂長」は、貸室・ギャラリー・小ホール・展示室のほか、飲食・物販を併設する施設として、市民の憩いの場や来街者の回遊拠点として、平成24年4月下旬のオープンを予定しています。オープン後は、定期的に朝市等のイベントを行うなど、まちの賑いづくりに寄与する施設運営を目指します。

指定管理に係る施設管理事業（お休み処坂長）《商工政策課》

お休み処坂長管理運営事業《商工政策課》

(9) イベント事業への支援

49,870

昨年においては、震災の影響により、桃まつりや花火大会等が中止となりましたが、今年度は更なるイベント内容の充実を図り、祭り・イベントなど年間を通して開催することにより、より一層の市内商工業の活性化および観光の振興を図ります。

イベント事業《観光振興課》

新規

(10) 古河マラソン大会開催の推進

8,000

古河市をアピールする新たな取り組みとして、市民が一体となった取り組みによる古河マラソン大会の開催に向け、マラソンコース設定の調査などを実施します。

(仮称) 古河マラソン大会開催準備調査事業《企画課》

新規

(11) 新たな観光資源の発掘

1,000

現在建設中の道の駅を起点とした新たな観光資源の発掘と、その活用方策を含めた一体的な調査をすることにより、古河市の新たな魅力づくりと観光都市古河市の基盤づくりの一助とします。

観光資源開発調査事業《観光振興課》

生活環境

5. 自然と共生した安全で快適な“暮らし”づくり

予算額（単位：千円）

（１）防犯灯設備の充実

62,745

防犯灯の設置および修繕を行い夜道の暗がりの解消による犯罪や事故の未然防止を図り、市民の安全安心の向上に努めます。

防犯灯整備事業《交通防犯課》

（２）被災者への支援

38,200

被災者支援対策として、民間賃貸住宅を応急仮設住宅として借上げ被災者へ提供します。また、被災住宅補修のための借入利息に対し1.0%の利子補給を行います。

被災者支援事業《営繕住宅課》

（３）動物愛護の推進

1,026

犬および猫がみだりに繁殖することを抑制し、市民の動物愛護の意識高揚を図ることを目的に補助金を交付します。

畜犬対策事業《生活環境課》

（４）太陽光発電システム等導入への助成

20,000

地球温暖化防止のため、家庭部門における二酸化炭素排出量の削減などを目的として、住宅用環境配慮型設備（太陽光発電システム・高効率給湯器）導入者に対し補助金を交付します。

○太陽光発電システム（4万円／1kW 上限12万円）

○高効率給湯器（エコキュート：4万円、エコジョーズ・エコフィール：1万円）

新エネルギー導入促進事業《環境政策課》

(5) 地球温暖化対策の推進

513

市域における民生部門からの温室効果ガス排出量の削減および環境意識の啓発を図るため、『みどりのカーテンコンテスト』、『エコドライブ講習会』を実施します。また、『省エネナビの貸出し』を行い、二酸化炭素排出量の見える化を促進します。

地球温暖化対策事業《環境政策課》

(6) 磯部都市下水路の整備

128,023

磯部都市下水路の整備については、平成23年度から年次計画により事業を実施しています。

事業箇所：東牛谷地内を中心とする東北新幹線東側十間通りから国道125号線までの区間1,567m

23年度：用地測量、不動産鑑定、土地評価

24年度：地元の同意を得、用地交渉に入る

都市下水路整備事業《下水道総務課》

(7) 木造住宅耐震診断及び訪問相談の実施

1,463

地震の際の住宅・建築物の倒壊などによる被害の軽減や市民の安全を図るために、木造住宅耐震診断および訪問相談を実施し、耐震に関する知識の向上を図るとともに耐震改修の促進を図り、安全なまちづくりを推進します。

住宅・建築物耐震改修促進事業《建築指導課》

(8) 消防団活動への支援を実施

100,075

消防団員の資質の向上と意識の高揚を図るとともに、消防団員の活動しやすい環境づくりに努めます。また、平成24年度においても、女性消防団員、機能別団員を引き続き組織するなど、消防団の充実強化を図り、地域の防災力を維持し、住民の安全安心を守ります。

消防団活動事業《消防防災課》

(9) 防災関連事業の実施

17,160

耐震性貯水槽について新たに設置するなど設備の充実を図り、市民の安全安心の向上に努めます。

(参考) 平成23年度への前倒し分 (事業費 92,000)

※復興まちづくり支援事業活用

- ・地域防災計画の修正 (24年度実施)
- ・非常用機器の更新 (24年度実施)

消防施設整備事業《消防防災課》

(10) 自主防災組織活動への支援

1,680

自主防災組織活動の活性化を図るために、自主防災会を結成時の結成事業補助金、資機材整備事業補助金、活動時の運営事業補助金の交付を行います。

自主防災組織育成事業《消防防災課》

6. 未来を見据えた都市の“基盤”づくり

予算額（単位：千円）

（１）デマンド交通・ぐるりん号の運行 83,118

デマンド交通「愛・あい」号は、総和・三和地区の市民を対象に平成20年7月から有料運行しています。また、循環バス「ぐるりん号」は、市民を対象に平成10年6月から無料運行を開始しましたが、平成24年4月から市公共交通サービスの公平性を確保するために運賃制度を導入します。市民の皆様の日常生活の支えとなる「地域の足」として、利便性の向上を図りながら運行していきます。

デマンド交通・ぐるりん号運行事業《企画課》

（２）市内直通横断バスの試行運行継続 6,500

通勤・通学者を対象として、民間路線バス事業者による市内直通横断バス（急行便）の試行運行を平成23年度から実施していますが、平成24年度から運行本数と停留所数を一部見直し、試行運転を継続します。このバスは、市内を横断している「十間通り」を通り、三和庁舎（旧役場跡地）と古河駅東口を結びます。

市内横断バス運行事業《企画課》

（３）道路補修の強化 368,849

生活道路の舗装（打かえ、路盤の改良など）および道路構造物（側溝など）の整備や維持管理を図ることにより、市民生活の安全確保、交通事故防止、交通弱者に配慮した道路環境整備を促進いたします。

道路補修事業《道路管理課》

（４）生活道路の整備 513,941

地域住民の利便性と安全性を向上するため、地域自治行政区から要望されている未改良の生活道路の整備を進めます。

道路新設改良事業《道路整備課》

(5) 道路橋梁の更新

15,000

市道三和0101号線の飯沼川に架かる橋梁が老朽化のため、市民の安心安全と通過交通の安全確保のため橋梁の架け替え整備を行います。（事業期間 平成24年度から平成27年度）平成24年度は、測量委託・予備設計を行います。

市道三和 0101 号線整備事業《道路整備課》

(6) 道の駅アクセス道路の整備

60,000

道の駅設置に伴い、お客様の利便性や利用効率向上のため接続道路を新設整備します。（延長400m 幅員11.5m）

大和田地区道路整備事業《道路整備課》

(7) 筑西幹線道路の整備

2,118,174

名崎工業団地へのアクセスをはじめ、県西地区の骨格となる幹線道路として、茨城県と一体となって整備を推進しています。平成23年度末見込みでは用地取得率が98%に達しており、平成24年度末の開通を目指します。

また、新4号国道西側への延伸に向け、概略設計を行います。

筑西幹線道路整備事業《幹線道路推進課》

(8) 仁連江口線整備の推進

55,281

三和地区内の既存主要都市計画道路(十間通り)を江口・尾崎方面へ延伸し整備することにより、JR古河駅から市役所三和庁舎等公共施設や、名崎工業団地、そして八千代町、つくば市方面からのアクセスの向上が図られます。

仁連江口線整備事業《都市整備課》

(9) 古河総合公園の充実

146,089

古河総合公園のパークフロント地区（北エリア）を多目的広場として整備します。また、「日本一の花桃の里」をめざし、桃林の再整備を3年計画（H24～H26）で実施します。

総合公園整備事業《公園緑地課》